

## 意見交換会の概要

- (1) 日時・場所:平成26年4月15日(火)13時30分～ 総務省 第一特別会議室
- (2) 概要:日欧の「ICTスマートタウン」に関する先進的実証プロジェクトの関係者(自治体、企業、大学)が一同に会し、事例紹介や意見交換を行った。
- (3) 参加者:日欧の自治体、企業、大学関係者 約30人が参加  
【日本側】総務省、慶應義塾大学(徳田教授)、三鷹市、塩尻市、NTT東日本 等  
【欧州側】CEA-LETI(電子情報技術研究所)(フランス)、  
カンタブリア大学(スペイン)、Engineering社(イタリア) 等



意見交換会の様子

## 結果概要及び主なやりとり等

総務省及びCEA-LETI(フランス)より、日本及び欧州における「ICTスマートタウン」の取組についてプレゼンテーションを行った後、日欧それぞれにおける先進的な取組事例(日本側は東京都三鷹市における「要援護者の見守りや災害時におけるWi-Fiを活用した情報提供」、長野県塩尻市における「センサーを活用した鳥獣害対策」、欧州側はサントandel市(スペイン)及びジェノバ市(イタリア)における「センサーを活用した交通管理・環境モニタリング」)の紹介を行うとともに、それぞれの取組に関して意見交換を行った。

### <主なやりとり等>

- 欧州委員会の第七次研究枠組み計画(FP7)に基づく「FI-WAREプロジェクト」については、そこで得られた成果をクラウド上で一元的に管理・公開し、第三者による成果の活用を可能としている。また、中小企業が当該成果を活用する場合、欧州委員会が金銭的な支援を行い、成果の活用を推進している。
- 「ICTスマートタウン」の実現に当たっては、ICTシステムの構築という技術面だけではなく、システムの運用・管理、住民の参画等を含めた街づくりに関する体制面の整備も非常に重要であるという認識を共有した。
- 今回のようなプロジェクトベースの意見交換は非常に有意義なものであり、引き続き日欧の関係者が集まる機会を活用し、意見交換を行っていくことで一致した。





## Horizon 2020 Work Programme 2014-2015 (1)

### Lighthouse projects

- *Low energy districts*
- *Integrated infrastructures*
- *Sustainable urban mobility*

### Conditions

- *Consortia: industry & cities*
- *2-3 cities involving 2-3 follower cities*
- *Part of ambitious urban plan*
- *Funding from other parts secured*
- *Affordable solutions*
- *Interoperability – no lock-in!*
- *Contributions to data collection*





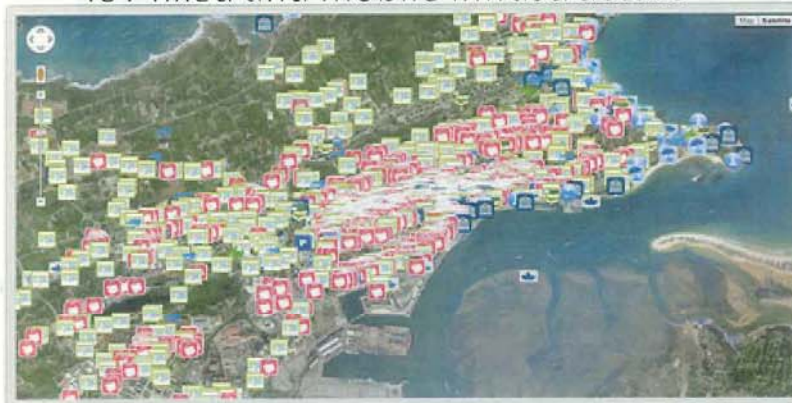
## Existing Infrastructure



IoT fixed and mobile infrastructure



Pace of the City events



Augmented Reality POIs



Citizens observations

<http://maps.smartsantander.eu>



## Genoa Infrastructure (I)

Traffic Sensors



Infopark Data



Wheaton Sensors

